

青雲同窓会報

発行
 岩手県立花北青雲高等学校
 青雲同窓会
 〒028-3172
 岩手県花巻市石鳥谷町
 北寺林11地割1825番地1
 TEL 0198 (45) 3731
 FAX 0198 (45) 3746
 発行人
 会長 高橋 安之

『花北青雲高校十周年』



同窓会会長
高橋 安之

同窓生の皆さまには日頃から暖かいご支援をいただき感謝申し上げます。

私たちを取り巻く昨今の状況をみますと、ヨーロッパの通貨危機が発生して以降、円高が続ぎ輸出企業が国外に転じ、産業の空洞化が進みつつあります。また、中国経済の回復の遅れや、尖閣諸島の領有を巡る、日中間の対立の影響で、中国向け輸出は減少しており、長びく経済不況はまだ回復の兆しを見せない状況にあります。

そのような中、アメリカではオバマ大統領が再選されましたが、日本をはじめ中国やロシア、フランスそして韓国などでトップが交代し、韓国では女性大統領が新たに就任しました。就業の機会が大変厳しい状況ですので、各国の政権交代が景気浮揚に繋がるよう期待したいものです。

また、東日本大震災から二年を経過しようとしております。被災された皆さまのご心労、お悲しみをお察し申し上げます。

被災地の復旧・復興の進捗状況については、業種によって濃淡があるようです。そして地盤沈下した港湾や道路などの嵩上げ、流された居住場所を高台や内陸に集団移転する事業については、なかなか進んでおりません。復旧・復興に向けた諸課題を解決していくには様々な問題が背景にあり、被災地の復興は道半ばです。

私たち各人が出来る形で、具体的に支援して行くことが必要です。時間が経過するにつれて、大震災に対するメディアで扱われる機会が減少していくものと思えます。そして国民の皆さんの被災地に対する関心が、次第に薄れ埋没することが懸念されます。

本校の生徒の皆さんが被災地を訪問し、がれき処理をはじめとする奉仕活動や話を聞き、災害への意識づけを行っております。このような被災地の復興状況など忘れられないようにしていくことが必要と考えます。

終わりに、本年三月の卒業生が花北青雲高校の十周年となり、本年四月で花北青雲高校も十年を迎えます。

少子化による生徒の減少への対応として望ましい規模の学校配置と生徒の多様性・個性化への対応として特色ある学校の設置に向けた整備計画が示され、新しいタイプの学校として県立高校新整備計画初の総合的な専門高校として対象校となり整備されました。

花北商業高校時代にも進学する生徒が多く、整備後の総合的専門高校においても進学が多くなると思います。進学対応もお願いした経緯があり、卒業生の進路をみて大学への進学が多くなつたような気がしています。

その中で、進路希望や興味・関心に応じ、在籍して

いる学科以外の学科の専門科目を選べる制度となっており、幅の広い進路の選択にも強みになっていくと思えます。その強みや魅力が活動に現れ新聞などに取り上げていただいておりますし、ライオンズクラブさんをはじめ地域の皆さまからも引き出していただいているものと思っております。

私たち同窓生から生徒の皆さんをみても、生徒の皆さんは意欲的に物事へ取り組んでいることが分かります。中学生が進路を決定していく上で大きな魅力になっていくものと思えます。同窓生として誇りに思います。

本校は、望ましい学校規模からみても県土の中では恵まれた地にあり、花巻・紫波地区の皆さまのご支援をいただきながら我々も支えていきたいと思えます。

来年は本校開校四十年、更に五十年に向けてより魅力のある学校になるよう皆さまのご協力をお願いします。

あいさつ



花北青雲高等学校
校長 遠藤 敏夫

同窓生の皆様には、日頃本校の教育活動にご支援・ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

今年度は震災からの復興元年として、すべての県立学校で防災教育に対する様々な取り組みがなされました。本校においても、生徒達による積極的な被災地支援・交流活動、ボランティア活動などが行われました。頼もしい限りです。

た。興味深く貴重なお話で、生徒達も大変関心を持ったようでした。生徒達の今後の様々な活動に生かされていくものと期待しております。

平成二十四年度も、本校生徒諸君の活躍は目覚ましいものがありました。詳細は本校のHP（ホームページ）に掲載しておりますので、ご覧いただきたいと思っております。本当によく頑張ってくれた素晴らしい年であったと思います。特に、野球部の夏の大会での二十二年ぶり再試合での勝利によるベスト16はおおいに学校を盛り上げてくれました。この他、運動部、文化部、各学科において個人団体ともに数多くの素晴らしい活躍がありました。

本校生は、福祉施設での演奏会を始め各種イベントへの参加、奉仕活動等に多数が取り組んでおり、多岐にわたる地域貢献が高く評価されております。生徒達がハツラツと明るく、高校生らしく元気に学習や部活動に取り組んでいる姿を見るにつけ、とても嬉しく、誇りに思います。これらは、諸先輩が築いてこられた本校の伝統であり、卒業生の皆様の各方面における活躍に支えていただいているものであります。今後とも、本校がさらに魅力ある学校となるよう、そして生徒達の「青雲ブランド」と言われる価値をより一層高められるよう教職員一同努力して参りたいと存じます。

さて、来たる平成二十六年年度、本校は花北商業高校創立以来四十周年を迎え、記念行事を行うこととなります。平成二十五年度は、その準備を本格的に進めてまいります。同窓生の皆様におかれましては、ご多忙のところとは存じますが、

何卒お力添えを賜りますようお願い申し上げます。最後に、母校への応援団として、同窓生の皆様方へ力強いご支援・ご協力を改めてお願い申し上げます。ご挨拶といたします。



第47回校内ロードレース大会



青雲講演会 「今、ここから」と題して

卒業生を講師に迎え開催されております青雲講演会は、今年で九回目となりました。今年度は昭和四十三年度花巻北高等学校石鳥谷分校（商業科）を卒業された東京都在住の石川梅子さんに講師を依頼し、平成二十四年九月二十六日（水）本校体育館を会場に開催されました。

始めに異文化紹介として、四名の仲間と共にフラメンコを披露してくださいました。石川さんは十年ほど前から趣味でフラメンコをはじめられ、華麗な踊りを披露するとともにフラメンコについて様々な説明をしてくださいました。途中には、



踊り子四名の中から石川さん本人を当てる場面があったり、生徒たちへフラメンコのかけ声を教える場面があったりと楽しい時間になりました。

その後は、現在行っている国際支援についてのお話でした。石川さんは五年前からマザーランド・アカデミー・インターナショナルを通じ、国際協力物資を届けていらつしやいます。石川さんが支援をするきっかけとなったのは、地球温暖化で南の島が水没してしまうというニュースをテレビで見たことだったそうです。発展途上国の暮らしが温暖化により大変な事態になっている。生態系が狂い作物が採れなく、生活ができない。先進国ではボタン一つで快適な暮らしが出来ているのに、私たちは地球の裏側の人たちの生活を脅かしてしまっている。自分もその一人なのか・・・分かなかったですと話しておられました。

マザーランド・アカデミーでは五才までの幼児死亡率

が高い国を支援していることや世界では産まれてから二十四時間以内に亡くなる子どもが一五〇万人もいる現実、五才までの子どもたちで洋服を着たことがない子どもがたくさんいる、暑さには耐えられる体でも夕方の寒さには震えてしまう子どもたちがいるなど、私たちの知らない発展途上国の現状を詳しく話してくださいました。

そして、卒業の時、裁縫道具や学校指定のジャージ・靴など不要になるものがあつたなら、一箱でもいいからぜひ貧しい子供たちのために支援してもらいたい、一生会うことのない子どもたちなのだが、皆さんが自分たちで出来る支援を是非してもらいたい、と呼びかけました。貴重なお話をいただき、ありがとうございます。

国際支援身近なことから

花北青雲高 OBが在校生に講演

卒業生講師を迎えた岩手県立花北青雲高等学校主催の講演会は26日、花巻市石鳥谷町の同校で開催された。国際支援活動に従事する石川梅子さん（東京都）が、自身の経験を踏まえ「一人の力は小さくても、みんな力を合わせれば大きな支援になる」と支援の取り組み姿勢や在り方について話した。

「保育士として25年勤務で趣味で取り組んでいる。現在マザーランド・アカデミー・インターナショナルを通じて国際支援を行っている。24時間以内に死する子どもがアンアフリカに初めて異文化紹介として」供がアンアフリカに

「世界で1年間に500万回支援してほしい」と呼ぶ人々がいることを挙げ、また支援に対する「支援物資に供したのすの姿勢については「お衣服がなくアフリカで購入してやるのではな、自ら進んでやるもの」と強調した。

同窓会事務局より
住所変更の連絡にご協力を
同窓会の大きな役割として、同窓会名簿の整備作業があります。これは同窓生の皆さんへの連絡をスムーズに行うために不可欠なものです。
引越・転勤・婚姻等により登録内容に変更がございましたら、お手数ですが事務局までご連絡ください。



母校で国際支援の在り方について講演した石川さん

岩手日日
平成24年9月27日

青雲同窓会総会

平成二十四年八月二十五日(土)、青雲同窓会総会が花巻温泉ホテル千秋閣で開催されました。総会に先立ち、昨年度



急逝された故松田和宏前副会長、長様へ黙祷を捧げ、ご冥福をお祈りいたしました。総会では高橋安之同窓会長、佐藤秀彦副校

後、議事に移り、提出議題すべてが承認されました。役員改選となつた今年、新副会長には前年度理事の中村弘樹さんが、新理事には新たに小原克巳さんが選出されました。



総会の後は集合写真撮影をし、懇親会が開催されました。今年には新会員十二名の出席があり、先輩方と交わり、和やかな時間を過ごしていました。

青雲同窓会東京支部総会

平成二十四年六月十六日(土)、青雲同窓会東京支部総会が東京有楽町大雅で開催されました。



今年は例年の会場が手狭と感じられるほどの参加者があり、新入会員の自己紹介などややかな雰囲気でした。



役員紹介

| | |
|-----|-----------------|
| 会長 | 高橋安之 (昭和46年度卒) |
| 副会長 | 伊藤操一 (昭和49年度卒) |
| 副会長 | 藤原康洋 (昭和55年度卒) |
| 副会長 | 中村弘樹 (昭和60年度卒) |
| 理事 | 多田義明 (昭和43年度卒) |
| 理事 | 佐々木俊幸 (昭和49年度卒) |
| 理事 | 小原文一 (昭和51年度卒) |
| 理事 | 千葉俊明 (昭和54年度卒) |
| 理事 | 高橋幸治 (昭和55年度卒) |
| 理事 | 岡田知穂 (昭和57年度卒) |
| 理事 | 三宮真利 (昭和57年度卒) |
| 理事 | 小野英二 (昭和61年度卒) |
| 理事 | 小原克巳 (平成元年度卒) |

| | |
|----|----------------|
| 理事 | 藤原理沙 (平成7年度卒) |
| 理事 | 伊藤淳 (平成11年度卒) |
| 監事 | 伊藤秀己 (昭和58年度卒) |
| 監事 | 菊池司 (昭和60年度卒) |
| 監事 | 小原学 (平成11年度卒) |
| 顧問 | 阿部正介 (昭和43年度卒) |

東京支部

| | |
|-----|-----------------|
| 支部長 | 菅原崇人 (昭和45年度卒) |
| 事務局 | 荒瀬富姫子 (昭和47年度卒) |
| 事務局 | 佐々木則司 (昭和49年度卒) |
| 事務局 | 中島清郎 (昭和62年度卒) |

平成24年度 事業

〈平成24年〉

- 4月6日(金) 入学式
- 5月17日(木) 第1回理事会 於 本校青雲会館
- 6月16日(土) 東京支部総会 於 大雅 (東京有楽町)
- 7月10日(火) 第2回理事会 於 本校青雲会館
- 8月25日(土) 定期総会 於 ホテル千秋閣 (花巻温泉)
- 9月26日(水) 青雲講演会 於 本校第一体育館
石川 梅子さん (S43年度卒業)

〈平成25年〉

- 1月25日(金) 第3回理事会 於 本校青雲会館
- 2月28日(木) 同窓会報第33号発行
- 同窓会入会式 於 本校多目的教室
- 3月1日(金) 卒業式
- 4月上旬 会計監査



同窓会員から

「同窓会のすゝめ」

平成元年卒業

小原 克 巳

平成二十四年六月第三週土曜日。ここは東京都千代田区有楽町のとある料亭の一室、そこでは、アイドル級の可愛い娘や凛々しい好青年、そしてハイソな貴婦人とダンディなおじ様が美味しように酒を飲み、料理を食べ、そして楽しく語り合っている。しかもその奥に・・・あの強面のお方はその筋の人か？やべーじゃない？しかし周りの人々はビビっている様子もなく楽しそうに話しているではないか！しかも大勢の女性に囲まれて・・・何なんだ？この集まりは？

そう！これが花北青雲高校の同窓会東京支部総会なのである。

平成二年三月に卒業し、二十二年の年月が経過していたが、機会がなく一度も出席したことのなかった同窓会。その同窓会に理事なんて偉そうな役職をぶら下げながら自

分は参加している。「なんでこんな事態になったのだろう・・・」目を閉じて考えてみた・・・が、間もなく「おい！こつちこいよ！」と自分を呼ぶ声。そう！その声の主、先にも触れた強面のお方が自分をこの世界に引き込んだのだ。

このお方と知り合ったきっかけは神輿である。自分は神輿が好きで各地の神輿渡御に参加していた。神輿の担ぎ手はかなり威勢が良く腕っぷしも強い。その面々の中で一際目立つお方の隣になる機会があった。「やべー粗相が無いようにしなげや」と思っていた。しかし話してみると気さくなお方。「もしかしして良い人なんじゃね？」話が進むと、何と！自分が卒業した高校の先輩ではないか！それからは今まで以上に可愛がって頂いた。感謝、感謝。ある時、そのお方から同窓会理事の話をお願いしたが、内心は「どうしようかな・・・」であった。しかし断れるわけもなく承諾、「ま、出てみなきや分かんないし」との気持ちで同窓会東

京支部総会に出席したのであるが、その結果は一言でいうと「面白い」のである！年代を超えた先輩&後輩が愉しく過ごせる時間なのである。何がどう嬉しいのかわかって？それは参加した者にしか分からないことなのだ。興味が少しでもある方は同窓会への参加を強く「すゝめ」たい。一歩前に進むことが如何に視野を広め有意義な人生に資することとなるかを実感して頂きたい。今は「すゝめ」て頂いたお方に、感謝、感謝、感謝！

「精神力」は野球部で！

平成二十一年度卒業

谷 保 諒 太

昨年の六月十六日に青雲同窓会東京支部総会に参加いたしました。今回は二回目の参加で、同窓会の雰囲気は大体分かっておりましたが、知っている方がほとんどいなく困っていました。そんな中、諸先輩方に優しく声を掛けていただいたり、今後の自分のためになってくれるような有り難いお話をたくさん聞くことができ、私にとってはとても有意義な総会になったと思います。しかし少し残念なこと

が・・・。新会員の参加が少ないのもそうですが、若い会員の出席者が少ないのが少し印象に残りました。総会に参加することによって諸先輩方のいろいろなお話を聞けることができ、是非若い会員の方々にも参加していただきたいと思いました。

さて、卒業から早くも三年が経過いたします。私は卒業と同時に就職のため上京いたしました。現在は、都市ガス会社に勤務しエネルギー関係の営業の仕事をしております。一昨年の震災以降、エネルギー業界は目まぐるしく変化しており、大都市のライフラインの一つである都市ガスを普及出来るよう日々努力しております。営業職ということもあり、精神的にきつい日々を送ることも度々あり、何度も壁にぶつかっただけではありませんが、たくさんの方々に助けられ乗り越えてきました。助けられ乗り越えてきたのも一つですが、やはり高校時代野球部で鍛えた「精神力」も一つあるかと思えます。

私は高校時代、野球部に所属しておりました。甲子園出場を目指し日々のきつい練習に耐えてきました。日々の練習でもそうでしたが特に、春

の強化合宿や冬季の強化練習はとてつもない強化メニューを組まれることがあり、肉體・技術を鍛えるのはもちろんですが、メンタルを強化するのも一つの狙いでもありました。本当にきつかったです。本同じ仲間同士励まし合いながら頑張つて乗り越えてきました。そんなきつい練習に耐えてきたことによって、今の自分の精神力があると思えます。そんなきつい練習を耐えたことによって、最後の夏の大会の二回戦、優勝候補であった一関学院を四対二で破った試合は今でも忘れられない思い出になっております。今年も青雲野球部の夏の熱い戦いを期待しております！

最後になりますが、青雲同窓会報に同窓会員の代表として原稿を書かせていただいたことに御礼申し上げます。今年も都合が合いましたら東京支部総会に参加しようと思っております！



平成24年度民間就職・公務員・進学内定状況(2月25日現在)

岩手県立花北青雲高等学校

| 種別 | 区分 | 職種 | 県内 | | 県外 | | 種別 | 区分 | 採用 | 県内 | | 県外 | | | | |
|--------------------------|----|------|---------|-------|---------|-------|--------------------------------|-------|-------|---------|------------|-------|-------|-------|----|----|
| | | | 男 | 女 | 男 | 女 | | | | 男 | 女 | 男 | 女 | | | |
| 【金融・保険業】 | | | | | | | 【公務員】 | | | | | | | | | |
| 花巻信用金庫 | | 事務 | 1 [ビ] | | | | 岩手県職員Ⅲ種 一般事務 | 2 | 2 [ビ] | 2 [ビ・総] | | | | | | |
| (株)岩手銀行 | | 事務 | | 1 [ビ] | | | 岩手県職員Ⅲ種 警察事務 | 1 | | 1 [ビ] | | | | | | |
| 小計 | | | 1 | 1 | 0 | 0 | 花巻市職員 一般事務職 | 2 | 2 [ビ] | | | | | | | |
| 【卸売・小売業】 | | | | | | | 遠野市職員 一般事務職 | 1 | | 1 [ビ] | | | | | | |
| A二一タ(株) | | 事務 | | 1 [ビ] | | | 盛岡地区広域消防組合 消防職 | 1 | 1 [ビ] | | | | | | | |
| (株)にまいばしミート | | 生産 | 1 [ビ] | | | | 国家公務員 一般職 | 0 | | | 1 [ビ] | 1 [総] | | | | |
| 日産部品岩手販売(株) | | 事務 | 1 [情] | | | | 国家公務員 税務職員 | 1 | | | 1 [ビ] | 1 [ビ] | | | | |
| (株)Paltac 東北支社 | | 事務 | 3 [ビ] | | | | 岩手県 警察官B | 2 | 2 [ビ] | | | | | | | |
| (株)小田島 | | 事務 | | 1 [ビ] | | | 東京消防庁 | 1 | | | 1 [情] | | | | | |
| (株)LEP INTERNATIONAL | | 事務 | | 1 [ビ] | | | 自衛隊一般曹候補生 | 0 | | | 2 [情・ビ] | | | | | |
| (株)宮澤商店 | | 事務 | | 1 [ビ] | | | 自衛官候補生 | 1 | | | 11 | 2 | | | | |
| (株)川徳 | | 販売 | | 1 [ビ] | | | 公務員最終合格者数 | | 31 | 7 | 4 | 16 | 4 | | | |
| (株)アストリア | | 販売 | | 1 [ビ] | | 2 [ビ] | 公務員内定者計 | | 12 | 5 | 4 | 3 | 0 | | | |
| (株)キクコウストア | | 販売 | 1 [ビ] | | | | 民間就職・公務員内定者総計 | | | | | 80 | 29 | 31 | 12 | 8 |
| (株)みずかみ | | 販売 | | 1 [ビ] | | | 【大 学】 | | | | | | | | | |
| 合資会社 末廣 | | 生産 | | 1 [総] | | | 福島大学 人文社会学群 経済経営学類 | | | | | 1 [ビ] | | | | |
| (株)みちのくジャパン | | 販売 | | 1 [ビ] | | | 岩手県立大学 ソフトウェア情報学部 | 1 [情] | 1 [ビ] | | | | | | | |
| (株)薬王堂 | | 販売 | | 1 [ビ] | | | 岩手県立大学 総合政策学部 総合政策学科 | 1 [ビ] | | | | | | | | |
| (株)ハウディ館 | | 販売 | | 1 [ビ] | | | 北翔大学 生涯学習システム学部 芸術メディア学科 | | | | | 1 [情] | | | | |
| 小田島商事(株) | | 営 | 1 [ビ] | | | 2 | 八戸工業大学 工学部 電気電子システム学科 | | | | | 1 [情] | | | | |
| 小計 | | | 7 | 10 | 0 | 2 | 東北女子大学 家政学部 家政学科 | | | | | | | 1 [総] | | |
| 【サービス業】 | | | | | | | 盛岡大学 文学部 日本文学科 (AO入試) | | | 1 [ビ] | | | | | | |
| (株)トヨタレンタリース岩手 | | サービス | 1 [ビ] | | | | 盛岡大学 文学部 児童教育学科 (AO入試) | | | 1 [総] | | | | | | |
| (株)プラントエンジニアリング盛岡 | | 技術 | 1 [ビ] | | | | 富士大学 経済学部 経営情報学科 | | | 1 [ビ] | | | | | | |
| 山の神温泉 幸迎館 | | サービス | | 1 [ビ] | | | 東北学院大学 工学部 電気情報工学科 | | | | 1 [情] | | | | | |
| ファインリゾート(株)(渡り温泉) | | サービス | | 1 [ビ] | | | 東北工業大学 工学部 情報通信工学科 | | | | 1 [情] | | | | | |
| (株)ガーデンリゾート | | サービス | | 1 [ビ] | | | 東北福祉大学 総合マネジメント学部 産業福祉マネジメント学科 | 1 [総] | | | | | 1 [ビ] | | | |
| (株)勝浦ホテル三日月 | | サービス | | 1 [ビ] | | | 仙台大学 体育学部 体育学科 | | | | 1 [情] | | | | | |
| 花巻レインボー開発(株)ホテルグランシェール花巻 | | サービス | | 2 [ビ] | | | 仙台白百合女子大学 人間学部 健康栄養学科 | | | | | 1 [総] | | | | |
| (株)エフメート飲食事業部 | | サービス | | 1 [ビ] | | | 明治大学 商学部 商学科 | | | | | 1 [ビ] | | | | |
| (株)KYコーポレーション | | サービス | | 1 [総] | | | 産業能率大学 情報マネジメント学部 現代マネジメント学科 | | | | | | 1 [総] | | | |
| (株)ヤマト | | サービス | | 1 [ビ] | | | 小 計 | | 17 | 2 | 4 | 7 | 4 | | | |
| (株)大庄 | | サービス | | 1 [ビ] | 1 [ビ] | | 【短期大学】 | | | | | | | | | |
| (株)トラジ | | サービス | | 1 [ビ] | | 1 [総] | 一関工業高等専門学校 電気情報工学科 (編入) | 1 [情] | | | | | | | | |
| 一般社団法人 TMG本部 | | 事務 | | | | 1 [ビ] | 岩手県立産業技術短期大学校 電気技術科 | 1 [情] | | | | | | | | |
| 花巻農業協同組合 | | 事務 | 1 [ビ] | 3 [ビ] | | | 岩手県立産業技術短期大学校 産業デザイン科 | | | | 2 [情・総] | | | | | |
| 三司馬物産(株)岩手営業所 | | 生産 | 1 [情] | | | | 岩手県立大学宮古短期大学部 | | | | 2 [情・ビ] | | | | | |
| 小計 | | | 4 | 11 | 1 | 3 | 盛岡大学短期大学部 幼児教育科 | | | | | 3 [総] | | | | |
| 【製造業・建設業】 | | | | | | | 秋田栄養短期大学 栄養学科 | | | | | | | 1 [総] | | |
| 敷島製パン(株) 東日本事業部 | | 生産 | | | 1 [ビ] | | 仙台青葉学院短期大学 ビジネスキャリア学科 | | | | | | | 1 [ビ] | | |
| (株)ギンビス古河工場 | | 生産 | | | 1 [総] | 1 [情] | 仙台青葉学院短期大学 看護学科 | | | | | | | 1 [総] | | |
| (株)グリーンデリカ岩手黒川工場 | | 生産 | | | 1 [総] | 1 [情] | 仙台青葉学院短期大学 こども学科 | | | | | | | 1 [総] | | |
| (株)トッパンコミュニケーションプロダクツ | | 生産 | | | 1 [総] | 1 [情] | 東北生活文化大学短期大学部 生活文化学科 子ども生活専攻 | | | | | | | 1 [総] | | |
| 新日鐵住金(株) 名古屋製鐵所 | | 生産 | | | 1 [総] | 1 [情] | 小 計 | | 14 | 4 | 5 | 0 | 5 | | | |
| (株)デンソーホールディング東北ガルバセンター | | 生産 | 1 [ビ] | | | | 【専門学校】 | | | | | | | | | |
| (株)北上コーティング | | 生産 | 1 [ビ] | | | | 岩手県立黒沢尻工業高等学校 専攻科機械コース | 1 [情] | | | | | | | | |
| パンチ工業(株)北上工場 | | 事務 | | 1 [ビ] | | | 岩手県立黒沢尻工業高等学校 専攻科電気コース | 1 [情] | | | | | | | | |
| ディー・ティエー・ファインエレクトロニクス(株) | | 生産 | | | 1 [情] | | 岩手リハビリテーション学院 理学療法学科 | | | | | | | | | |
| リコー光学(株) | | 生産 | 1 [情] | 1 [総] | | | 花巻高等看護専門学校 | | | | 1 [総] | | | | | |
| ケミコン岩手(株) | | 技術 | 1 [情] | | | | 水沢学苑看護専門学校 | | | | 2 [ビ・総] | | | | | |
| TDK-MCC(株)北上工場 | | 生産 | | | 2 [ビ・総] | | 岩手医科大学医療専門学校 歯科衛生学科 | | | | 1 (1) [総2] | | | | | |
| 盛岡東京電波(株) | | 生産 | 1 [情] | | | | 上野法律ビジネス専門学校 | | | | 1 [ビ] | | | | | |
| (株)TSD | | 生産 | | | 1 [情] | | 盛岡公務員法律専門学校 | | | | 4 [ビ] | | | | | |
| (株)ディック電子 | | 技術 | | | 1 [情] | | 盛岡情報ビジネス専門学校 | | | 5 [情・ビ] | 1 [ビ] | | | | | |
| (株)ツガワ ES事業部 北上工場 | | 事務 | 1 [ビ] | | | | 盛岡カレッジオブビジネス | | | 1 [情] | 3 [ビ・総] | | | | | |
| (株)アイメタルテクノロジー | | 生産 | 2 [情・ビ] | | | | 盛岡医療福祉専門学校 | | | | 3 [総] | | | | | |
| トヨタ自動車東日本(株) | | 技術 | 1 [情] | | | | 盛岡ペットワールド専門学校 | | | | 2 [ビ・総] | | | | | |
| トヨタ紡織東北(株) | | 技術 | 2 [情] | | | | 盛岡調理師専門学校 | | | | 1 [総] | | | | | |
| ホンダエンジニアリング(株) | | 技術 | | | 1 [情] | | 盛岡ヘアメイク専門学校 | | | | 1 [ビ] | | | | | |
| 富士重工業(株)群馬製作所 | | 生産 | | | 1 [情] | | 専修大学北上福祉教育専門学校 | | | | 5 [ビ・総4] | | | | | |
| 三枝工業(株)古河事業所 | | 生産 | | | 1 [ビ] | | 北上コンピュータ・アカデミー | | | 2 [ビ] | 1 [ビ] | | | | | |
| (株)サンブリッジ東北 | | 生産 | 1 [情] | | | | 東北文化学園専門学校 臨床工学科 | | | | | 1 [情] | | | | |
| 小計 | | | 27 | 5 | 7 | 3 | ドレメファッション芸術専門学校 | | | | | | | 1 [総] | | |
| 【電気・ガス・熱供給・水道業】 | | | | | | | 仙台医療福祉専門学校 | | | | | | | 1 [ビ] | | |
| 小計 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 日本自動車大学校 | | | | | | | 1 [情] | | |
| 【情報通信・運輸業】 | | | | | | | 小 計 | | 41 | 10 | 27 | 2 | 2 | | | |
| トッパン・フォームズ・オペレーション(株) | | 技術 | | | 1 [情] | | 進学合格者総計 | | | 72 | 16 | 36 | 9 | 11 | | |
| 小計 | | | 1 | 0 | 1 | 0 | 民間就職・公務員・進学内定者総計 | | | | | 152 | 45 | 67 | 21 | 19 |

[情]=情報工学科、[ビ]=ビジネス情報科、[総]=総合生活科

3時間37分 白球ドラマ



延長十五回を戦い抜き、試合終了のあいさつをする久慈、花北青雲両校の選手＝盛岡市・県営球場

花北青雲 22年ぶり引き分け再試合

【これぞ意地と意地のぶつかり合い。盛岡市三ツ割の県営球場で13日行われた第94回全国高校野球選手権岩手大会3回戦。久慈―花北青雲は延長十五回の激闘の末、4―4で互いに譲らず、22年ぶりの引き分け再試合が決まった。選手たちは「苦しい試合だが、やるべき」とはできた「次も気持ちを切らさず戦う」と14日の再戦へ闘志を燃やした。【本記19面】

再戦へ闘志

打2本で逆転し、久慈が九回に同点に追い付いて延長戦へ、久慈は再三好機をつくったが、計21残塁と攻め切れなかった。浜端航大

延長十五回二死一塁。久慈の城内将志投手(3年)が最後の打者を一邪飛に打ち取りゲームセット。両校選手が整列し、スタンドからも健闘をたたえる拍手が湧き起こった。花北青雲が2―3で迎えた八回にソロ本塁

岩手日報
平成24年7月14日

新聞記事より

花北青雲高校 地元菓子店とコラボ

花北青雲高校(遠藤敏夫校長、生徒469人)―花巻市石鳥谷町北寺林のビジネス情報科は、21日に一般公開する文化祭(青雲祭)に合わせ「雑穀と復興支援」をテーマに地元菓子店とコラボ

日本一の産地PR「雑穀大福」どうぞ 復興支援の被災地商品も 21日、文化祭で販売

青雲祭に向け、雑穀大福を手にする(左から)八重樫さん、照井さんと被災地から仕入れたサイダーを持つ阿部君



雑穀お菓子では、同科の「粟匠丸文」とコラボの2、3年生有志各4人「生産」雑穀かりんとは、イナキビ粉2割もで構成する商業研究班が「う」を地場産ヒエ粉で手ち粉8割で皮を作り、中▽地場産タカキビ粉を用 作り生産などに取組にクリムチス、あいた「雑穀大福」を同町み青雲祭で販売する。ん、クリを入れた。

このうち、雑穀大福は、「タカキビ特有のふんわりした食感が楽しめるはず」と話す。店長の阿部拓也君(3年)は「座学では身に付けることのできないことを現場で経験したい」とした上で「内陸部では買えない商品を生産した」と語り、被災地から仕入れた、せんべいや根コンブ、サイダー、まんじゅうなど14商品を販売し、収益金を復興支援に向け寄付する。また、情報工学科は、バッテリーカー、マイコン(2個入り)3ノットの試走や各種製作ロボットの実演など、総合生活科は、実習内容の展示、1年生の「そば粉入り」100円で「3年パウダーケーキ」と3年生の大槌町とのコラボ開発商品「大かめ」とは粉売、他に市内の菓子店などを行う予定。公開時間は午前10時〜午後3時。

岩手日報
平成24年10月19日

新聞記事より

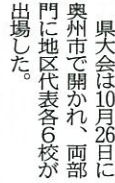
団体、個人で2年連続

食育や福祉題材に工夫

花巻市石鳥谷町の花北青雲高(遠藤敏夫校長、生徒469人)は、県高校家庭クラブ連盟研究発表大会の学校家庭クラブ活動の部(団体)、ホームプロジェクトの部(個人)でそれぞれ最優秀賞を受賞し、12月14日に宮城県で開催される東北大会に出場する。両部門での最優秀賞は2年連続。生徒らは「先輩の成績を超えたい」と意気込んでいる。

花北青雲 東北大会へ

県高校家庭クラブ研究大会



佐藤優菜さん

県大会は10月26日に奥州市で開催され、両部門に地区代表各6校が出場した。団体は「子どもの遊を伝える研究に取り組む」に寄り添い、学び合



ミニ学習発表会で、エプロンシアターの実演をする「学校家庭クラブ活動の部」の発表生徒=7日、花北青雲高

引くための工夫を凝らした。発表者の斎藤麗奈さん(2年)は「保育園の実習では子どもの反応がとも良かった。東北大会では、先輩たちを超える全国大会出場を目指したい」と目標を掲げる。個人は、佐藤優菜さん(2年)が「由美ちゃん(2年)が「由美ちゃん元氣プロジェクト」リウマチの祖母の生活改善」の研究成果をまとめた。関節リウマチの影響で生活しにくくなり、マイナス思考になってしまった祖母を元気づけようと、V5分ですべて栄養バランスのとれたレシピリウマチ体操V毛糸の携帯クリナー作りなどを実践した。

岩手日報 平成24年11月10日

エネルギー地産地消で

花北青雲高 佐藤教授(福大)が講義

花巻市石鳥谷町の花北青雲高校(遠藤敏夫校長、生徒468人)で22日、情報工学科の生徒を対象とした出前授業が行われた。福島大共生システム理工学類の佐藤理夫教授(産業システム工学専攻)を講師にエネルギー問題への理解を深め



佐藤教授(中央)を講師にエネルギー問題を学んだ花北青雲高情報工学科の出前事業

東北活性化研究センターの人材育成事業(ユニバーサイエンス)を活用した講師派遣。「エネルギーの地産地消」をテーマとする佐藤教授の講義に、同科1~3年の104人が出席した。最初に、1960年に58%だったエネルギー国内自給率が2000年以降は4%にとどまっていることを紹介。原子力、火力、風力、地熱、小水力発電などの利点と欠点を挙げ、特徴を生かしてうまく組み合わせるネットワークの有効性を説いた。

この中で「火力に頼らない脱原発」としてエネルギーの消費削減や発電効率の向上、排熱利用の推進など再生可能エネルギーの活用を提示。「原発にも化石資源にも頼らないエネルギー地産地消の社会を目指し、若い皆さんが一步を踏みだしてほしい」と呼びかけた。講義を聴いて大矢明君(3年)は「豊かなエネルギー社会の実現には時間とお金が掛かるが、風力や太陽光を効率よく活用する開発が進み、日本だけでなく世界が豊かになれば」と語った。

同日は、情報工学科の課題研究成果発表会も開かれ、3年生の8グループ34人がエネルギーやバッテリー自動車などを題材に取り組みの成果を披露した。

岩手日報 平成25年1月24日

平成24年度部活動成績

●●●全国大会出場●●●

〈男子バドミントン部〉

平成24年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技 シングルス 筑後 和 (2回戦進出)



〈珠算部〉

第59回全国高等学校珠算・電卓競技大会 珠算競技 個人総合の部 小林 瑞生

〈O.A部〉

平成24年度第59回全国高等学校ワープロ競技大会 団体の部 第23位 八重樫晴香・照井はなこ 藤原 まみ

〈ビジネス情報科〉

第28回全国高等学校簿記コンクール 個人の部 薄衣 郁海

〈生活研究同好会〉

第11回フラワーアレンジメントコンテスト全国大会 鈴木 真紘

〈総合生活科〉

第60回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会 ホームプロジェクトの部 奈良県教育委員会賞(全国3位)

小原佑季子
クラブ員奨励賞
小原佑季子

〈教科〉

第29回全国商業高等学校スピーチコンテスト レシテーション部門 藤原 佑夏

●●●東北大会出場●●●

〈男子バドミントン部〉

平成24年度東北高等学校バドミントン選手権大会 学校対抗 ダブルス 佐々木大樹・鎌田 哲也 筑後 和・藤根 侑也

小原 聖胡・山本 翔之
シングルス

佐々木大樹

小原 聖胡

山本 翔之

筑後 和 (2回戦進出)

ミニ団体 岩手県代表 筑後 和

平成24年度全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会

学校対抗

ダブルス

小原 聖胡・藤根 侑也

シングルス 筑後 和

〈女子バドミントン部〉

平成24年度東北高等学校バドミントン選手権大会 学校対抗 出場

平成24年度全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会 学校対抗 出場

〈珠算部〉

第39回東北六県高等学校珠算・電卓競技大会 個人総合の部 佐藤 拓也

珠算競技

電卓競技

個人総合の部 高橋 大地

〈O.A部〉

第50回東北六県高等学校ワープロ競技大会 団体の部 第3位 八重樫晴香・照井はなこ 藤原 まみ

〈総合生活科〉

東北ブロック家庭クラブ連盟研究発表大会 ホームプロジェクトの部 優秀賞 佐藤 優菜

学校家庭クラブ活動の部 優秀賞

●●●県大会入賞●●●

〈男子バドミントン部〉

平成24年度岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技 学校対抗 準優勝

シングルス 準優勝

ダブルス 和

平成24年度種目別バドミントン選手権大会 準優勝

ダブルス 小原 聖胡・藤根 侑也

シングルス 準優勝 筑後 和

平成24年度岩手県高等学校新人大会バドミントン競技

学校対抗 準優勝

ダブルス 準優勝

小原 聖胡・藤根 侑也

シングルス 準優勝 筑後 和

第13回岩手インターハイ記念岩手県高等学校選抜バドミントン大会 学校対抗 優勝

〈女子バドミントン部〉

平成24年度岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技 学校対抗 第3位

平成24年度岩手県高等学校新人大会バドミントン競技 学校対抗 第3位

第13回岩手インターハイ記念岩手県高等学校選抜バドミントン大会 学校対抗 第3位

〈女子サッカー部〉

平成24年度岩手県高等学校総合体育大会 第3位

第25回岩手県女子サッカー選手権大会 第3位

第21回全日本高等学校女子サッカー選手権岩手県大会 第3位

第47回岩手県高等学校新人サッカー大会 第3位



〈陸上競技部〉

平成24年度秋季陸上競技大会
高校男子 砲丸投
第3位 及川 勝裕
高校女子 三段跳
第3位 村松 愛

〈珠算部〉

平成24年度岩手県高等学校珠算・
電卓競技大会
珠算競技
個人総合の部 第4位
小林 瑞生
電卓競技
団体の部 第3位
伊藤 美鈴・佐藤 義子
高橋 大地

平成24年度岩手県高等学校新人
珠算・電卓競技大会
珠算競技
個人総合の部 第8位
佐藤 拓也
電卓競技
個人総合の部 第10位
高橋 大地

〈O.A部〉

岩手県高等学校ワープロ競技大会
団体の部 第2位
個人の部
第4位 八重樫晴香

岩手県高等学校新人ワープロ競技
大会
団体の部 第2位
個人の部
第6位 菊池 陽香
正確賞 板垣かおり

〈文芸部〉

岩手県高校生文芸コンクール
短歌部門
入選 佐々木 悠
文芸部誌部門
入選 『軌』第23号

〈吹奏楽部〉

平成24年度全日本吹奏楽コンクール
第50回岩手県大会
高等学校の部 銅賞

〈生活研究同好会〉

第11回フラワーアレンジメント
コンテスト岩手県予選会
金賞 鈴木 真紘



〈ビジネス情報科〉

岩手県高等学校情報処理競技大会
団体 第3位
岩手県高等学校簿記コンクール
個人の部
第10位 薄衣 郁海

〈総合生活科〉

岩手県家庭科クラブ連盟研究発表
大会
ホームプロジェクトの部
最優秀賞 佐藤 優菜
学校家庭クラブ活動の部
最優秀賞

〈情報工学科〉

高校生ものづくりコンテスト
2012岩手県大会
電子回路組立部門
第4位 佐々木 望
第6位 藤原 清澄

〈教科〉

岩手県商業高等学校英語スピーチ
コンテスト
レシテーション部門
最優秀賞 藤原 佑夏
スピーチ部門
第2位 島山 玲
第3位 外崎 里紗
(全国大会出場)



野球応援

寄稿・お便りを
お待ちしております

会報の発行は毎年二月末
を予定しております。会員
の皆様からのご寄稿・お便
りをお待ちしております。
内容については、近況報
告・在学中の思い出・同級
会の様子など何でも構いま
せん。
話題あふれる会報を作成
したいと思えます。下記
メールアドレスへどんどん
お寄せください。

お知らせ

同窓会では毎年、卒業記
念品として卒業証書ホル
ダーを贈っております。

